

I 平成26年度事業報告

第1 事業の概要

平成26年度は、多文化共生マスタープラン4年次目として、プランに掲げる外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、これまで以上に外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に多文化理解推進、外国人市民支援、市民活動支援及び情報収集提供などの事業を実施した。

多文化理解推進事業では、交流サロン、姉妹都市との青少年交流、語学サロン、各種イベントへの参加等を通じて多文化共生社会の推進を図る事業を実施した。なお、交流サロンについては、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「JASSO」という。）の「公益財団法人中島記念国際交流財団助成による平成26年度留学生地域交流事業」による助成金を活用し、事業の充実を図った。

外国人市民支援事業では、これまでのマンツーマン形式による日本語学習支援に加え、一般財団法人自治体国際化協会（以下、「CLAIR」という。）の助成により日本語が全く話せない外国人向けにグループ形式の学習支援及び文化庁委託事業の『生活者としての外国人』のための日本語教育事業によりテーマ別発信型日本語講座等を実施した。また、生活相談、法律相談、留学生交流員事業を実施したほか、災害時外国人支援事業として、千葉市と「千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定」の締結、「外国人のための防災教室」等を実施した。

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、文化庁の委託事業による日本語学習支援ボランティア向けの研修や「やさしい日本語ガイダンス」を実施したほか、国際交流・国際協力活動をするボランティア団体を支援した。

情報収集・提供事業では、フェイスブック、ブログを活用し、台風や降雪時の気象情報などの情報をやさしい日本語を中心として提供するなど、情報の提供頻度・量の充実を図った。

受託事業として、千葉市からの「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を実施したほか、前記の文化庁受託事業では、「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を実施した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を多く設け、多文化理解の推進を図った。

下表中の（※）は、JASSOの助成対象

イベント名等	開催日	内容 会場	参加者 () 内外国人
親子三代夏祭り	8月17日	親子三代夏祭りの「千葉おどり」参加 千葉銀座通り周辺	115人 (46人)
日本語スピーチ大会	10月25日	協会や地域の日本語教室で日本語を学習している外国人11ヶ国14人(アメリカ、イラン、インド、インドネシア、オーストラリア、オランダ、韓国、タイ、中国、ネパール、ベトナム)が、生活体験や意見を発表する機会を提供することにより日本語学習の成果を確認すると共に、参加者間の交流を図った。また、協会設立20周年を祝し、ボランティア及び外国人日本語学習者等の将来の夢や協会への感謝のメッセージから成る「桜の樹」を作成し、また過去にコーディネートした日本語学習ペアの写真を852枚掲示し、敬意を表すると共に活動促進の一助とした。 国際交流プラザ	173人 (50人)

外国人と日本人の交流会	8月12日	ノースバンクーバー市からの来葉者との交流、三味線・おどりの披露、剣舞の披露・衣装体験など 国際交流プラザ	98人 (36人)
	12月7日	留学生交流員による「異文化交流サロン」(※) 千葉県外国人留学生交流員4名(千葉大学:カンボジア、敬愛大学:中国、東京情報大学:中国、神田外語大学:韓国)による出身地の文化紹介等 国際交流プラザ	59人 (10人)
	1月31日	「外国人と日本人の交流会 in 高浜」 中国人の集住地区で、千葉市役所や自治会と協働し、中国人・日本人住民のコミュニケーションを図ることを目的として実施した。SLネットワークの指導の下、防災関係用具を一緒に作り、災害用食品を食した後は、ゲームを通じて交流を図った。 高浜公民館	70人 (20人)
	2月10日	中国からの修学旅行受入れ 中国からの小学生の修学旅行に市内の小中学校訪問を組み入れ、児童との交流を図った。 市立海浜打瀬小学校	784人 (51人)
文化紹介	7月2日 ～10日	七夕の文化紹介及び飾り付け 日本の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と一緒に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	66人 (短冊数)
	7月16日	開こう！世界のとびら (※) 世界各国と日本の文化の違いを学習している小学5年生を対象に各地の文化紹介等を行った。 参加者出身地数：3(台湾、中国、ベトナム) 市立有吉小学校	130人 (3人)
	9月20日	民族ダンスと昔遊びで交流しよう！ (※) 「幕張本郷つくし2子供会」主催のイベントに、外国人留学生が参加し、インドネシアの民族ダンスや西の谷音頭を一緒に踊ること等を通じて交流を図った。 参加者出身地数：1(インドネシア) 市立西の谷小学校	57人 (3人)
	10月22日	英語で交流会 (※) 「総合的な学習の時間」における英語を運用した国際理解の授業で児童との交流を図った。 参加者出身地数：4(インドネシア、ネパール、ベトナム、ロシア) 市立都賀小学校	107人 (7人)
	11月6日 12月5日	総合的な学習の時間 「国際理解教育」(※) 外国人の考えや外国の文化に触れることで、互いの「違い」や「共通点」を知り、お互いを尊重する態度を育てた。 参加者出身地数：6(アメリカ、韓国、タイ、中国、フィリピン、ベトナム) 市立大木戸小学校	計90人 (計7人)
	11月11日	英語で交流会 (※) 英語に慣れ親しみながら、異文化体験を通して交流を図った。 参加者出身地数：2(中国、ベトナム) 市立さつきが丘東小学校	65人 (3人)

11月19日	総合的な学習の時間(国際理解教育)における国際交流活動(※) 児童が外国文化に親しみ、外国に対して興味を持つきっかけを作った。 参加者出身地数:4(韓国、中国、フィリピン、モンゴル) 市立寒川小学校	101人 (4人)
11月28日	クリスマスのお話し会 in English (Pre-Christmas Event 2014) クリスマスツリー等の飾り付けを行い、英語によるお話し会やクリスマスソングの合唱を行った。 参加者出身地数:9(インドネシア、オーストラリア、中国、チリ、フィリピン、ブラジル、ホンジュラス、メキシコ、ロシア) 国際交流プラザ	33人 (18人)
2月27日	国際理解教育授業 Let's Talk! 英語を学習している小学5年生を対象に英語を用いてのコミュニケーションや各地の文化紹介等を行った。 参加者出身地数:4(アメリカ、カンボジア、中国、ネパール) 市立小中台小学校	136人 (4人)
3月17日	酒造り見学と昼食会 千葉ロータリークラブ主催のイベントに参加し、同クラブのメンバーと外国人間でお互いの文化の紹介や意見交換等を行った。 参加者出身地数:5(オーストラリア、韓国、カンボジア、台湾、中国) 飯沼本家(印旛郡酒々井町)	15人 (7人)

イ 青少年交流(市補助)

姉妹都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、青少年交流事業を実施した。受け入れでは、受入家庭のみならず、広く市民との交流ができるプログラムを組み市民の多文化理解の推進を図った。

交流姉妹都市名	期間・内容等	参加者
カナダ・ノースバンクーバー市 (45回目)	(派遣) 8月4日~19日 市長表敬訪問、市内見学、自然体験、日本文化の紹介等 〈研究レポートテーマ〉 「カナダの自転車利用」、「日本とカナダの食文化」、「女性人権」、「ノースバンクーバー市での都市と自然の関わり」、「日本とカナダにおける教育的施設の在り方とその利用の違いについて」	高校生4人 引率者1人
	(受入) 8月6日~20日 市長表敬訪問、「外国人と日本人の交流会」における市民との交流、親子三代夏祭りでの神輿担ぎ・千葉おどりへの参加、箱根方面へ自然体験学習等	高校生4人 引率者1人
アメリカ・ヒューストン市 (32回目)	(受入) 6月6日~19日 市長・教育長表敬訪問、市立幕張中学校における授業体験、前年度派遣生との東京見学、自然体験学習等	中学生4人 引率者1人

スイス・ モントルー市 (17回目)	(派遣) 7月28日～8月12日 公式レセプション・建国記念日式典出席、市内見学等 〈研究レポートテーマ〉 「観光学の視点から見るスイスの交通機関・システム」、「スイスの食生活について」、「スイスにある産業」、「スイスのお城について」、「モントルー市役所における職員研修」	青少年4人 引率者1人
--------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------

ウ 語学サロン

国際交流ボランティア活動支援及び育成を図り多文化理解を推進するため、ボランティアや賛助会員及び次代を担う青少年を対象に語学サロンを実施した。

講座名	期間	時間等	講師	受講者
韓国語サロン(前期)	5月12日～5月26日	2時間×3日	協会職員	7人
韓国語サロン(後期)	2月19日～3月5日	2時間×3日	李 銀淑	5人
英語サロン(前期・中上級)	5月15日～7月17日	2時間×10日	協会職員 ジーナ リベラ	22人
英語サロン(高校生限定)	7月28日～8月1日	1.5時間×3日		19人
英語サロン(後期・中上級)	10月1日～12月3日	2時間×10日		24人
	10月7日～12月16日			23人
英語サロン(中学生限定)	12月19日～12月24日	1.5時間×3日		17人
英語サロン(クリスマス会) 既受講者及び外国人の交流会	12月25日	3時間×1日		60人
英語サロン(初級)	1月19日～3月23日	2時間×10日		15人
中国語サロン(初級)	6月2日～7月7日	2時間×6日	協会職員 青島 瞳	16人
中国語サロン(中級)	11月5日～12月3日	2時間×5日	協会職員 葉 青	11人
スペイン語サロン	10月24日～11月7日	2時間×3日	協会職員 タニア ムニョス	12人

エ 多文化共生推進事業

(7) 各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等の地域との連携を図り事業を実施したほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとしての参加等により多文化共生社会実現に向けた取組みを実施した。

名称	開催日	場所	内容
美浜保健福祉 センター支援事業	毎月1回	美浜 保健福祉センター	中国人が集住する美浜区の保健福祉センターにおける様々な通訳、翻訳業務(子どもの健康診断に関する通訳、保健師の家庭訪問に関する書類や予防接種に関する資料の翻訳など)を行った。
双葉外語学校入学式	4月7日	千葉市文化センター	市内の日本語学校や外国人が在籍する専門学校の入学式・卒業式等に参加することにより、外国人留学生の動向に関する情報収集や協会の活動等についてのPR等を行い連携を深めた。
中央国際文化学院 入学式	4月15日	中央国際文化学院	
3H日本語学校入学式	7月18日	生涯学習センター	
千葉モードビジネス 専門学校入学式	10月14日	千葉モード ビジネス学院	

双葉外語学校プロジェクトワーク発表会	2月27日	双葉外語学校	
中央国際文化学院 卒業式	3月13日	千葉市民会館	
通訳（語学）ボランティアの養成・活用に関する意見交換会	5月1日	千葉県国際 交流センター	2020 東京オリンピック・パラリンピックにおける通訳ボランティアの活用及びその養成についての意見交換会に参加した。
千葉市防災会議 専門部会	5月20日 8月18日	千葉市役所他	中国出身の協会職員が「男女共同参画の視点を取り入れる部会」の委員として参加した。
生涯学習指導者 基礎研修	5月24日	生涯学習センター	「ボランティアはじめてたい！千葉市のボランティア関連施設活用術—ちばぼら4施設合同説明会」に参加し、協会の活動等についてPRを行った。
稲毛区役所出張窓口	6月19日	敬愛大学 稲毛キャンパス	留学生などへの転入・転出手続き、外国人登録、国民健康保険、国民年金（学生納付特例制度）などの各種情報提供や協会の活動等のPRを行った。
市営住宅入居説明会	6月27日 9月29日 12月25日 3月30日	千葉市住宅供給公社	市営住宅入居説明会での通訳及び生活のルールについてのアドバイスを行った。
世界のくらしシリーズ 「パラグアイってどんな国？」	6月28日	土気あすみが丘 プラザ	NPO 法人あすみが丘国際交流開催のイベントに参加し、千葉市と同国のアスンシオン市が姉妹都市提携に至った経緯の説明や、協会の活動のPRを行った。
外国人市民懇談会	7月13日	千葉市動物公園	千葉市国際交流課と協働し、「千葉市動物公園を訪れる外国人の満足度を高めるには」をテーマに、意見交換を行った。
高浜地区保育所 職員研修	7月25日 11月7日 2月20日	高洲第二保育所	中国人集住地域での市保育所職員への研修（中国における習慣や文化、保育所で役立つ中国語等の紹介）にて、中国出身の協会職員が講師を行った。また、新規の試みとして、防災教室を兼ねた保育所利用の保護者との交流会を実施し、保育所と保護者の橋渡しを務めた。
外国人のコミュニケーションに関するアンケート調査	8月7日	国際交流プラザ	千葉大学大学院人文社会科学研究所の村岡英裕教授及び文学部国際言語文化学科の高民定准教授によるアンケート調査に協力した。
千葉市海外インバウンド ツーリズム推進協議会	9月5日 11月14日 1月20日 3月19日	千葉中央コミュニティ センター他	千葉市におけるインバウンドツーリズムの総合的効果的な推進を図るために、協議会メンバーとして会議に参加し、通訳ボランティア等の活用につなげた。
2020 東京オリンピック・ パラリンピックに向けて の研究会	9月18日 11月28日 3月3日	千葉商工会議所	大会の成功に向けて支援するとともに、国内外に千葉市の知名度を高める等を目的として設置された研究会に参加した。
青少年の日フェスタ	9月20日	生涯学習センター	『青少年の日』及び『家庭・地域の日』事業実行委員会」主催イベントに参加し、青少年交流事業ほか協会事業等を市民に広く周知した。
日本語を母語としない 親と子のガイダンス	10月13日	千葉大学	「日本語を母語としない親と子のガイダンス実行委員会」主催のイベントに協会職員が通訳として協力した。

在住外国人への日本国内旅行実態等に関するアンケート調査	10月16日	国際交流プラザ	政策研究大学院大学政策研究科修士課程の学生(千葉県国際課付派遣)によるアンケート調査に協力した。
中央区ふるさと祭り	10月19日	中央公園	生活相談やボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い、当協会の存在や事業を市民に広く周知した。
市民活動フェスタ	11月15 ～16日	きぼーる	ボランティア制度、賛助会員制度の案内と募集を行い当協会の存在や事業を市民に広く周知した。
生涯学習ボランティアフェア	11月21 ～30日	生涯学習センター	
千葉駅周辺の活性化グランドデザイン策定に係る協力	11月21日	国際交流プラザ	千葉市発注の「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン策定業務委託」を受託した「株式会社ちばぎん総合研究所」からのインタビューに協力した。
千葉県通訳ボランティア養成検討会議	12月24日 1月14日 2月10日 3月12日 3月25日	プラザ菜の花	千葉県が2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に設置した会議に委員として参加した。
美浜区多職種連携会議	3月12日	美浜 保健福祉センター	美浜区内あんしんケアセンター主催の会議に参加し、在住外国人支援にかかる事業の説明を行った。
千葉北ロータリークラブ例会	3月18日	ホテルポート プラザちば	例会において千葉市における外国人の状況や協会の活動についての卓話を行った。
ちば「まち歩きガイド」	3月24日 3月25日	千葉市中心市街地	千葉商工会議所による市内のホテルに宿泊の外国人観光客を対象とした事業に協力した。

(イ) 職場体験等の受入

児童、生徒、学生や教職員等に対し、就業体験の場や国際化に関する情報提供を行い、体験を通じて国際交流・国際協力への意識を醸成することにより多文化共生社会実現に向けての理解促進を図った。

対 象		実 施 日	内 容
小学生	市立坂月小学校6年生8人	11月21日	職場訪問として国際交流プラザ利用の外国人へのインタビュー
中学生	市立真砂中学校2年生1人	6月26・27日	国際交流プラザでの事業、英語サロン補助ほか、外国人へのインタビューのレポート作成
	市立花園中学校2年生2人	10月19・20日	
	市立稲毛中学校2年生2人	11月5・6日	
	市立生浜中学校2年生2人	11月12・13日	
大学生	創価大学2年生1人 千葉科学大学3年生1人	8月 11・12・17日	交流サロン(親子三代夏祭り)業務及び相談窓口補助(千葉市におけるインターンシップの一環として実施)
	その他	千葉県海外行政研修員 (コソボ共和国文化遺産委員会職員)	7月1日
		県立検見川高等学校教諭1人	8月17日

(ウ) 市及び公的機関からの文書等翻訳

依頼元	翻訳言語	翻訳内容
千葉市 及び公的機関等	英語 中国語 韓国語 スペイン語 フィリピン語	防災ガイドに係る千葉市HP/美浜区子育て相談日程表/保育所入所しおり/市生活ガイドブック/国民健康保険リーフレット/臨時福祉給付金支給申請書及び案内文書/家庭ごみの減量と出し方ガイドブック/千葉市指定避難場所・広域避難場所/就学児童支援制度 他

(2) 外国人市民支援事業

ア 日本語学習支援

(ア) 国際交流プラザにおいて、ボランティアとのマンツーマン形式等による外国人市民へ日本語学習を実施した。(開始件数：370件)

(イ) ゼロレベルの日本語学習者支援(CLAIR 助成対象)

日本語が全く話せない(ゼロレベルの日本語)外国人に対し、グループによる学習を開始しマンツーマン形式へとつなげた。受講者のうち、18人が引続きボランティアとのマンツーマン形式の学習を開始した。また、学習の中において、外国人への支援者の体験研修を兼ねて実施した。

期間	会場	時間等	受講者等	体験研修者
4月14日～5月19日 6月26日～7月31日 8月25日～9月29日 10月30日～12月8日 1月19日～2月19日	国際交流プラザ	2時間×10日	12ヶ国35人	19人

(ウ) テーマ別発信型日本語講座等の実施(文化庁委託事業)

開催日	会場	時間等	講師等	受講者 () 内外国人
7月7・14・28日 (テーマ：趣味)	国際交流プラザ	3時間 ×3日	萬浪絵里氏 他2人補助	165人 (70人)
8月7・14・28日 (テーマ：家族)	国際交流プラザ	3時間 ×3日	萬浪絵里氏・宮島京子氏 他1人補助	
9月19・27日・10月3日 (テーマ：子育て)	鎌取コミュニティセンター 緑保健福祉センター	3時間 ×3日	萬浪絵里氏・宮島京子氏 他8人補助	
10月8・15・22日 (テーマ：介護)	美浜保健福祉センター	3時間 ×3日	萬浪絵里氏・釧地平子氏 他7人補助	
10月31日・11月7・14日 (テーマ：防災)	花見川保健福祉センター	3時間 ×3日	萬浪絵里氏 他7人補助	
11月25日・12月2・9日 (テーマ：子育て)	千葉県国際交流センター	3時間 ×3日	萬浪絵里氏・白井晴美氏 他6人補助	
1月14・21・28日 (テーマ：自治会)	国際交流プラザ	3時間 ×3日	萬浪絵里氏・林豊氏 他4人補助	
2月17・24日・3月3日 (日常会話グループレッスン)	国際交流プラザ	2時間 ×3日	萬浪絵里氏	

イ 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談の受付及び情報提供を行った。また、電話の三者間通話機能を利用した電話通訳サービスや市役所コールセンターへの多言語対応等の協力を行った。

内 容	言 語	方 法	件 数	人 数
外国人市民に対する相談	英語、中国語、 韓国語、 スペイン語等	協会窓口、電話、 Eメール等	1,393件 (窓口:633件) (三者通話:84件)	1,144人 (窓口:527人) (三者通話:84人)

ウ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。通訳が必要な場合、協会職員、ボランティアが対応した。

内 容	回 数	件 数	会 場
日常生活に関する法律相談	毎月1回 (うち4回は夜間)	24件 (要通訳:15件)	国際交流プラザ相談室

エ 留学生交流員事業(市補助)

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に、留学生交流事業を実施した。

内 容	対 象	内 訳
外国人留学生交流員の任命 奨学金67,500円の支給 協会及び千葉市事業への参加協力等	市内在住・在学の私費留学生 (大学から推薦を受けた者) 市内4大学 4人	千葉大学:カンボジア 敬愛大学:中国 東京情報大学:中国 神田外語大学:韓国

オ 災害時外国人市民支援事業

(ア) 各種防災訓練への参加等

名 称	開 催 日	場 所	参加者等()内外国人
第35回九都県市合同防災訓練 千葉市メイン会場	8月31日	市立みつわ台中学校	29人(16人)
第35回九都県市合同防災訓練 千葉市美浜区幸町2丁目会場	8月31日	市立幸町第一中学校	実態調査として参加
千葉市シェイクアウト訓練	9月1日	国際交流プラザ	9人(2人)
千葉中央ツインビル総合防火・ 防災訓練	9月17日 3月10日	千葉中央ツインビル及び 千葉中央公園	17人(9人) 17人(8人)

(イ) 「緊急連絡シミュレーション」及び「災害時翻訳シミュレーション訓練」の実施

内 容	実施日	対 象
関東地域以外の東北地方等において発生した大規模災害に対し、関東地域の地域国際化協会が相互に協力し、災害地域の外国人に対する支援を円滑に推し進めることができるよう実施した。	9月29・30日	災害時語学 ボランティアほか

(ロ) 外国人のための防災教室

日本人に比べ防災知識が十分でない外国人向けに、「外国人のための防災ガイドブック」(平成25年度製作)を活用し、防災啓発及び防災意識・知識を高めることにより、実際の災害時に対応できるよう実施した。

名 称	開 催 日	場 所	参加者()内外国人
3H日本語学校入学式後のオリエンテーション	7月18日	生涯学習センター	231人(206人)
第35回九都県市合同防災訓練	8月31日	市立みつわ台中学校	29人(16人)
テーマでつながる日本語クラス -防災ステップ1	10月31日	花見川 保健福祉センター	22人(11人)
高浜地区保育所職員研修 中国人保護者との交流会	11月7日	高洲第二保育所	38人(19人)
外国人と日本人の交流会 in 高浜	1月31日	高浜公民館	70人(20人)

(エ) 避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定締結

日本語による意思疎通に支障のある外国人が、申請書を提出することで千葉市避難行動要支援者名簿に掲載されるにあたり、申請書の作成及び一時保管について、平成26年6月30日に千葉市と協定を締結した。

(オ) 千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定締結

災害時における外国人の支援を円滑に行うために、センターの設置・運営並びに千葉市及び協会の役割について必要な事項を定めるため、平成26年8月28日に千葉市と協定を締結した。

協定に基づき、10月6日(台風18号)及び10月13日(台風19号)には、災害情報を多言語に翻訳し、協会ブログ、Facebookで情報発信をした。

また、センター設置時における千葉市(国際交流課)と協会の対応をまとめたマニュアルを平成27年3月31日に策定した。

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、通訳や日本語学習支援、ホストファミリー等のボランティアの登録・コーディネートを行った。外国人児童支援については、千葉大学国際教育センター新倉涼子教授によるモデル事業への協力として実施した。

(平成27年3月末)

内 容	登 録 (件)	幹 旋 (件)
通訳	443	25
災害時語学	202	9
翻訳	327	69
ホームステイ	109	8
ホームビジット	193	26
文化紹介	180	36
日本語学習支援	661	370
学校派遣	72	0
国際交流支援	463	30
合 計	2,650	573

イ ボランティア研修

(ア) 日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。(実践講座、養成講座、体験研修は、文化庁委託事業にて実施)

講 座 名	内 容	時 間 等	開 催 日	講 師	受 講 者
入 門	これから日本語学習支援を始めるボランティアのための基礎的な予備知識の習得	2時間×1日	5月9日	伊藤 三枝子氏	47人
			7月30日		
			11月12日		
			2月28日		
実践(前期)	学習活動を充実させるための考え方や具体的な手法の習得	3時間×5日	5月27日～ 6月24日	萬浪 絵理氏	20人
実践(後期)	習得	3時間×5日	11月20日～ 12月18日	萬浪 絵理氏	15人
養 成	日本語ボランティアとは何かを考える(コミュニケーションスキル・やさしい日本語で伝え合う・演習)	3時間×10日	9月2日～ 11月18日	萬浪 絵理氏 加藤 早苗氏 田栗 春菜氏 西山 陽子氏	14人

体験研修	日本語グループレッスンを 通じて支援方法を学ぶ	2時間×3日	2月17日～ 3月3日	萬浪 絵理氏	21人
------	----------------------------	--------	----------------	--------	-----

(イ) やさしい日本語ガイダンス

日本語学習支援ボランティアや千葉市職員等に対して、「やさしい日本語」の有効性を知り学ぶガイダンスを開催した。

内 容	開 催 日	講 師	参加者 () 内外国人
やさしい日本語についての講義及びワークショップ	12月12日	協会職員 廣田 将克	30人 (9人)

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成し、在住外国人支援、地域での多文化理解推進に資する活動を優先的に助成した。

内 容	助成団体
民間ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、市民団体の活動事業に要する経費の一部について助成	14団体

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の事務局として支援を行った。

内 容	開催日	場 所	参加団体	来場者
ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等	2月8日	きぼーる	25団体	約1,300人

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室25か所（中央区：5 花見川区：3 稲毛区：5 緑区：3 美浜区：9 若葉区：0）の情報を収集し、当協会実施の講座等周知により更なる活動の促進となるよう支援しつつ、各団体間のネットワーク化を図った。また、希望団体については、当協会のホームページ上にて情報を掲載し紹介する等、利用者の利便を図った。

(4) 情報収集・提供事業

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。フェイスブック、ブログを活用し、情報の提供頻度・量の充実を図り、特に、台風時の気象情報などの情報をやさしい日本語を中心として提供した。

内 容	時 期
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (やさしい日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語)	通年

イ 協会情報誌「ふれあい」（日本語）発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行80～83号	6月、9月、12月、3月 (年4回)	各3,000部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市生活情報誌発行

外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等の有益な情報を外国語に翻訳し、ホームページや各区市民課窓口等、日本語教室等を通して提供した。

内 容	部 数	発 行	配布先等
英語	100 部/月	月 1 回	各区窓口、日本語教室、 市内大学、ホームページへの掲載等
中国語	150 部/月		
やさしい日本語	100 部/月		

エ 設立 20 周年記念誌の発行

協会設立 20 周年にあたり、記念誌を平成 26 年 12 月下旬に発行した。

オ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を配置するとともに、情報コーナーにおいて、協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報提供、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。また、インターネットコーナーにおいてパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提供を行った。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の配置	通年	国際交流プラザ
ふれあいボード（市民間情報交換用掲示板）		
情報収集用パソコン		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運營業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運營業務を実施した。

施設利用状況（開館日数 293 日）

	会議室	国際交流ラウンジ					合 計
		日本語学習支援	外国人相談	インターネットコーナー	多目的スペース	小 計	
件数	708	5,007	1,393	34	2,168	8,602	9,310
人数	8,558	11,130	1,144	34	2,168	14,476	23,034

(2) 文化庁から委託を受けた「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の実施

ア 日本語教育（外国人市民支援事業にて実施）

日本語学習支援において、テーマ別発信型日本語講座等を実施した。

イ 支援者研修（市民活動支援事業にて実施）

ボランティア研修において、日本語学習支援ボランティア養成講座、実践講座、日本語グループレッスンを通じた体験研修を実施した。

ウ 成果発表

平成 27 年 2 月 8 日にちば市国際ふれあいフェスティバルの会場において、来場者に対し、実施内容のパネル展示や冊子「ちば多文化協働プロジェクト」を用いて説明をした。

第3 賛助会員(平成27年3月31日現在)

会員の高齢化等により前年度に比べ個人会員が減少した。法人・団体会員については、HPでのリンク掲載特典、賛助依頼に努めたことで前年度と同数の会員維持となった。

区分	合計	内訳1(日本人・外国人)		内訳2(一般・学生)		内訳3(金額)	
個人	493人	日本人	471人	一般	470人	2,000円以上/年会費	470人
				学生	1人	1,000円/半年会費	0人
						2,000円以上/年会費	1人
		外国人	22人	一般	21人	1,000円/半年会費	4人
						2,000円以上/年会費	17人
				学生	1人	1,000円/半年会費	0人
				2,000円以上/年会費	1人		
法人・団体	101団体	1法人・団体 10,000円以上/年会費					

平成26年度事業報告の附属明細書

平成26年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書については作成しないこととしている。